

あいあいあい I eye 愛

2022年
7月号

6月17日 第30期理事会発足



より一層しなやかで逞しいあいコープへ

専務理事 高橋 正人

議長から「全ての議案が賛成多数で可決承認されました。」と報告があり、第34回総代会は滞りなく閉会いたしました。規模を縮小しながらも総代の皆様との対面による総代会は3年ぶり。本総代会では、新しい役員体制が選任され、第30期理事会が発足いたしました。

当日発言をいただいた4名の総代の皆様からは、職員教育への助言をはじめ、介護に関する講座、LPAの会など活動に対する意見や質問、商品に対する希望など様々な視点から激励のお言葉をいただき、非常に背筋が伸びるとともに、決意を新たに思うでした。

総代会で特に事業面において説明させて頂いたことの中に、今期の商品政策上の3つの柱があります。

①あいシテルのあいコープ②産地直結のあいコープ③産直肉のあいコープ。あいコープはただのスーパ―ではありませんから、「食べること」と「作ること」、この消費のサイクルを通じて持続的な社会につな

がる商品のお届けに、実直に取り組んでいます。一方、安い生産コストを求め、地球にダメージを与えながら作り、売るといふ方法がありません。「食べる側」が「どのように作られたか」を知らされずに値段を最優先して購入を続けた場合、「作る側」は地球にダメージを与える方法があっても「売れるから作り続ける」という構造が生まれます。持続的な社会を作るために、あいコープの商品を「選ぶ」ことで「社会を変える」活動を引き続き進めてまいります。

コロナ禍に入り、オンラインによる組合員交流を続けてまいりましたが、今年度からは感染対策に十分に注意しつつ、W a! わあ祭りを含め、生産者や組合員同士の「対面で交流できる方法」を模索し増やししながら、組合員が「作る現場」を知り関心を深めることによる持続可能な社会を目指し、本総代会でご承認いただいた方針・計画を実現すべく、役員が一丸となり取り組んでまいります。

CONTENTS

- ▶ 第30期理事会発足しました ...2
- ▶ トライ田んぼ田植完了! ...3
- ▶ シャボン玉月間～自分が香害の加害者に!?～ ...4-5
- ▶ 夏の麺にはあいシテルのこだわりの麺つゆ ...6
- ▶ 脱原発委員会ひっぽ電力を訪問 ...7
- ▶ 生産者にあいに行こう ナチュリノの巻 ...8

総代会開催 第30期理事会発足

去る6月17日、エルパーク仙台ギャラリーホールに於いて第34回通常総代会が開催されました。新型コロナウイルス感染防止の観点から、会場参加は人数を限定し、オンライン傍聴も可能にしました。4つの議案はすべて可決され、新しい理事事も承認されましたので「報告いたします」。

あいコープみやぎ第34回通常総代会採決結果

議案	反対	保留	賛成	結果
第1号議案 2021年度活動・事業報告、決算及び剰余金処分案承認の件	2	2	130	可決
第2号議案 2022年度活動方針・事業方針、計画及び予算の決定の件	2	2	130	可決
第3号議案 役員選任の件	1	4	129	可決
第4号議案 役員報酬限度額決定の件	1	5	128	可決

COVID-19 予防の為、会場参加を規模縮小し書面議決中心で開催。

総定数 153名。総代本人出席 22名（採決参加は議長を除く 20名）、書面参加 114名。



出席総代数に限りはありましたが、3年ぶりの対面開催となり、総代からの意見、質問にその場で役員が回答するなど、あいコープらしい活発なやりとりが復活しました。これを新たな出発点に、より一層実りある活動を目指していきましょう。

新理事 3名が就任



いしい あかり
石井 朱里
(泉A地区担当)

こんにちは、新理事の石井朱里です。仙台に引越してきて、あいコープ歴は4年ほど。まだわからないことばかりですが、産地から組合員まであいコープに関わる多くの皆さんの思いをつなぐような活動ができればと思っています。



さとう ゆうこ
佐藤 有子
(泉B地区担当)

何年も地区委員やってきてまだまだ知らない事がある不安と、新たな組合員さんや生産者さんとの出会いにワクワクしています。「小さな事からコツコツと皆さんと一緒に、暮らして「い」していきたいです！」



なかしま けいこ
中島 恵子
(宮城野・若林地区担当)

宮城野・若林地区担当理事になりました中島恵子です。あいコープ歴は短く仕事と両立になりますが、楽しくのんびりと、企画や委員会を通して皆さんと地区を盛り上げていきたいです。よろしくお願いたします。

第30期理事会は、上記新理事と監事のお2人を合わせて総勢20名。2年間、あいコープの運営に携わります。

◆理事◆ (括弧内は役職及び担当)

高橋 千佳 (理事長)

高橋 正人 (専務理事)

吉武 悠里 (常務理事)

大滝 満雄 (常勤理事)

石川 佳名子 (太白地区委員会)

太田代 一世 (食と農委員会)

櫻井 洋子 (脱原発 エネルギーシフト委員会)

佐藤 あきな (石けん環境委員会)

佐藤 美恵 (LPAの会)

鈴木 真奈美 (広報・食と農委員会・Wa!わぁ祭り実行委員会)

辻 朗子 (石巻地区委員会・GMO)

原子 良恵 (食と農委員会・ジョイケア)

藤田 紀子 (しおさい地区委員会)

三浦 一枝 (仙南地区委員会・ジョイケア)

八重畑 ゆかり (青葉A・B地区委員会)

◆監事◆

倉林 千枝子 (弁護士)

半田 正樹 (東北学院大学名誉教授)

土に触れ 食のはじまりに触れる

七郷「無農薬の米作り」にトライ！ 4度目の田植え

爽やかな風が吹き抜ける5月21日、仙台市若林区七郷で組合員による田植えが行われました。生産者と組合員が協力し、除草剤などを使わない「無農薬の米」を作ってみよう！と始まった「トライ田んぼ」の活動も今年で4年目。今年度の登録家族は10組です。田植え当日は、七郷みつば会から5名の生産者が駆けつけて下さり、3グループに分かれて指導を受けながら田植えをしました。

赤ちゃんを抱っこしたお父さん、生き物に夢中になる子供たち、初めて入る田んぼに、足が抜けなくなる人続出！見ているこちらがハラハラドキドキ…。中には、アメンポのようにスイスイと上手に歩き回るお子さんも！大人も子どもも黙々と苗を植えました。



この活動は、自然に触れ作物を育てることを通して、食卓に上がる食べ物はどうやってできているかを知り、他では味わえない沢山のことを感じてもらえたらという思いで運営しています。そして、東日本大震災で津波が押し寄せたこの七郷の田んぼで、参加する組合員さんに2011年の震災からの復興のこともお伝えしています。草取りを頑張る、7月には田んぼの生き物調べも計画しています。秋には美味しい「つや姫」をみんなで収穫したいと思います。トライ田んぼがお米と一緒に豊かな心も育てる田んぼになりますように。

食と農委員会担当理事

太田代 一世

タネは希望 秋保の畑で学びの時間

5月29日、5年目になる「たねまきプロジェクト」がスタートしました。年々増加する応募ですが、今年も泣く泣く抽選をし、12組の家族と共に活動しています。

2018年に主要農作物種子法が廃止されるにあたり、あいコープでは2017年度から「たね」に関する活動をしており、翌年から秋保ゆうきの会・渡辺重貴さんのご協力で「たねまきプロジェクト」が始まりました。

今年1回目の作業は、昨年からはじめた夏小豆の岩手大納言(小豆の品種名)の種まきです。渡辺さん特製(?)『種まき用木の枝』により30cm間隔に開けられた畑の穴に、小豆を2粒ずつ入れて優しく土をかぶせます。大人より子ども達が楽しんでいて、まだ小豆が入っていない穴を見つけると「ここ、まだだ!」と言って、率先して種まきをしてくれたので作業は30分ほどであったという間に終了しました。



ただの木の枝じゃないよ ひみつ道具です(笑)



小豆のたねを採り、育て、また次につなぐ。これを繰り返して何年もかけて秋保の土地に合った秋保小豆を確立することがこのプロジェクトの最終目的です。

畑一面、他の草に覆われ草取りに精を出した年、害獣被害で収量が減少した年、色々ありましたが、今年はどうかな小豆に育つのでしょうか。生きるために必要な食べ物。それを生み出す一粒のたね。いのちの糧です。今年度も、たねまきプロジェクトを通して皆さんと共に日本の食と農について、学び考える活動をしていきます。

宮城野地区担当理事

八重畑 ゆかり

え！ わたしが「加害者」に？

「好き嫌い」では済まない 香りについて考える

『子どもの給食着の香りに耐えられない…』

子どもが週末持ち帰る給食着。お家で洗濯してアイロンかけて月曜日に持って来てね♪…って言われるけど…。よそのおうちで使われている合成洗剤の匂い、そして混ざりに混ざった柔軟剤の香り。いっしょに洗ったものは全て移り香に染まり、アイロンなんてかけたら家じゅうに広がる！



『「わたしは」大丈夫よね？』

化学物質過敏症の人がいることは知っています。芳香剤や柔軟剤の香りに触れると頭痛や吐き気がしたり、動機や発熱を起こす人もいます。でも私は柔軟剤や芳香剤を「いい香り」と感じるし、頭痛もしないから化学物質過敏症ではないみたい。よかった！

→化学物質過敏症は、誰が発症してもおかしくないもの。蓄積された化学物質により、ある日突然発症するとも言われます。そして何より「香り」というのは自分だけのものではありません。「自分は発症していないから大丈夫、いい匂い」と纏ったその香りが、近くにいる誰かを苦しめているかもしれません。知らないうちに「加害者」になっているかも？



『体臭がコンプレックスなんです』

清潔にしているつもりですが、汗の臭いが気になって、人前に出るのが怖いです。クサイって思われるのが怖くて、何か香り製品を使わないと落ち着かない！



→香りを身に着け続けると鼻が慣れてしまい、もともと香らないと「香っていないのでは」と心配になるもの。使用する香り製品の量は大丈夫？日に日に増えて周りを不快にしていますか？さらに、香りの質によっても影響は変わります。人工香料を使用した商品や、いつまでも消えない残存性が強い香り成分は、より過敏症の人に苦痛を与えます（必ずしも天然だから影響がないというわけではありません）。自分にとっては必要な香りだとしても、その香りの質と量について考えてみませんか。

『香りを楽しみたいんです』

石けん生活をしています。でも、アロマのように、心を穏やかにしたり、リラックスするために「香り」を嗜むことは大好きです。



→「周りに影響を与えすぎないこと」は大切です。自分がリラックスできても誰かが不快になったのでは残念。香りが残りにくい天然の精油でアロマスプレーを作ったり、ハンカチに精油を1滴つけて折を見て嗅いだり、自分だけで楽しむ方法を。「匂いを嗅ぐ」ということはその成分を「体内に入れる」ということ。自然に近いもので楽しみたいですね。

◆アロマスプレーの作り方◆ (彩生舎さんより)

【材料】 全体量 30ml
(精油希釈率 1%)
スプレーボトル (遮光性のあるもの)
精製水 25ml
無水エタノール 5ml
エッセンシャルオイル (精油) 6滴

【作り方】

①無水エタノールをボトルに入れ、精油を入れ軽く振り混ぜます。
②精製水を入れ、蓋をしっかりと締め、更に混ぜると出来上がりです。
※保存料が入っていないため、2週間を目途に使い切りましょう。
※精油希釈率 1%は体に使用しても安全とされている目安です。

あいコープでお届けする商品の生産者は…

適度な「香り」は、家事のストレスの緩和、リラックスできる気分の演出など日々の暮らしを心豊かにすると考えます。しかし、過剰な量や人工的で強すぎる匂いは、健康に悪影響を与え、周囲の方々にも不快な思いをさせてしまうことは否定できません。当社の方針としましては、石油由来の合成香料は一切使用せず、植物から抽出された精油など自然由来成分のみを使用。香りが過剰になりすぎず、心地よく感じていただけるように社員やユーザー様にご意見を頂きながら検討を進めております。



太陽油脂株式会社
石けん化粧品研究開発グループ
大作 香奈恵さん



株式会社アードブレン
代表取締役社長
佐藤 圭さん

弊社は創業当初より、香料を一切配合しておりません。香料は皮膚トラブルを起こしやすく、各自の好みがかかる原料だからです。弊社では、原料臭を抑え、無臭に近づけ、化粧品存在を感じさせない『黒子のような製品』を目指しております。香料は、香料メーカーさんのノウハウがあり、どの成分の組み合わせで、その香りを作り出しているか、ほぼ開示されませんので、内容を知ることが困難です。そして、合成だからNG、天然だからOKではありません。香りを纏っている本人は心地よくても、周囲の方の体調や気分によっても感じ方が変わりますので配慮は必須です。



エスケー石鹸株式会社
営業部販売課
田中 美紀さん

エスケー石鹸は創業以来、環境・安心・安全をテーマとしています。昨今、技術の発達により様々な香りがありますが、「香りが長続き」「濃厚な香り」などを謳って商品を販売していることが空気汚染に拍車をかけていると云われています。人工的な香りが苦手な方もいます。弊社製品は無香料品・香料品とありますが、香料品はIFRA(国際化粧品香料協会)の基準に適合した安全性の高い香料を使用。目的は石けん臭をマスクングする程度で残香性の少ないものを選定しております。



株式会社彩生舎
ハーバルアロマセラピスト
安東 依子さん

香りの感じ方は人それぞれですが、人工的に作られた合成香料の強い香りは苦手な方も多いのではないのでしょうか。一方、木や花の香りに心が落ち着くように、天然植物の香りは私たちにも環境にも心地よく働きかけてくれます。私たち彩生舎は厳選したオーガニックの香りにこだわりを持ち、エッセンシャルオイルをはじめ薬用入浴剤やアロマスプレーなどの日々の暮らしに寄り添う製品作りをしています。香りを通じて皆さまが健康やかに、快適に過ごせるお手伝いができれば幸いです。

あいコープ理事が「わ・は・わ大衡」を訪問

米粉パンや食パン、焼き菓みに粉石けん。どれも社会福祉法人みんなの輪の皆さんが作る商品です。野菜の小分けや食肉加工の仕事など、協業もたくさんあります。仙台共同購入会の頃から続ける障がい者支援が「社会福祉法人みんなの輪」となり、今年で20年。感謝とお祝いの気持ちを届けに、理事会でわ・は・わ大衡を訪問しました。私たちがどのような社会でどう生きたいか、それを考えて活動していくのが生協であり福祉だというみんなの輪の吉武洋子理事長のお話に、活動への力をいただきました。これからは共に、誰もが安心して暮らせる地域社会を目指していきたいと思ひます。 理事 原子 良恵



迫の生産者と「バケツ稲」に挑戦中！

「自宅のバケツを使ってお米を育ててみませんか？」ん？バケツでお米？なんか楽しそう。でも、ちゃんと育てられるかしら？ほとんど疑問のままバケツ稲選手権に応募してみました。

5/28、バケツを準備して日の出町センターへ。申し込んだバケツ2つ分の土と苗と肥料を受け取りました。…これでお米ができるのかな？まだ疑問(笑)今とにかく、初めての挑戦だから、やるだけやってみよう！！やる気だけは満々です。早速、バケツに土と水を入れ田んぼを作りました。いい感じです。苗も植えました。いい田植え日和でした。ちゃんと、成長してくれるかな。 組合員 中鉢 瑞恵



おだいの
たねまき



老舗の蕎麦屋さんの味を追い求めた

こだわりの麵つゆ

仙台共同購入会(あいコープの前身)の時代から約40年、組合員に醤油を届け続ける『鎌田醤油(株)』。麵つゆも30年以上の歴史があり、幾度かリニューアルを重ねました。2013年、「こだわりの麵つゆ」として登場してからもずっと組合員に「あい」されています。

■家庭で作ることのできる「かえし」

麵のつゆは「だし」と「かえし」でできています。醤油、砂糖、みりん、この3つでできた味が和食の基本とも言えるもの。あいコープでは美味しい醤油も、美味しい砂糖もみりんも手に入ります。「組合員の皆さん、どうぞ自分で作ってくださいね」と言っちゃってもよかったです。ただ「ど…」と笑うのは鎌田醤油の鎌田専務です。しかしみんなが作れるわけではなく、と商品開発に着手した思い出を語って頂きました。当時、老舗の蕎麦屋さんをとことん研究し、割合を検討したそうです。手抜きをせずに時間が醸すのを待ってできた国産丸大豆醤油と、組合



鎌田醤油 専務
鎌田 雅敬さん



員におなじみの「花見糖」、そして非遺伝子組み換えのみりんを鎌田さんの思う「最高の比率」で組み合わせ、削り節を作っている「まるご食品」の鯉節などでとった出汁で割ったのが、あいシテルの麵つゆです。ラベルにある原材料を見るとこれだけスペックの麵つゆを、この価格で利用できるのは生協(共同購入)だから。スーパーでは買えません。

■もっとプレミアムなものを作るなら

蕎麦を食べることを前提に開発された「こだわりの麵つゆ」ですが、うどんなどには天ぷらや油揚げを合わせると、このつゆの美味しさが際立つそう。

もっと価格が上がってもいいからプレミアムなものを作ってみてと言ったら、どんなつゆを開発したいですか?の問いに、しばらく考えて「これ以上はないかも」と答えた鎌田さん。これ以上は思いつかないという最高の材料と割合で作られた「こだわりの麵つゆ」で、色々な麵を味わってくださいね。

ええのう えんのう

仙台えんのう倶楽部の情報を毎月お届けするこのコーナー
第16回目は、組合員援農活動で迫る田んぼ除草に参加中した伊藤幸恵さんです

薄曇りの天気の中、田んぼの除草が始まりました。初めて足を踏み入れた田んぼは、昔読んだ絵本の中で子豚が泥にこぼれずと沈んでいく場面を彷彿させる楽しい感覚でした。

午前中は、田んぼを歩くだけで四苦八苦していましたが、午後になるとコツを掴みました。いったん始めるとあちこち気になる大掃除のように、気になる草を見つけてはその草まで突進している自分がいました。気が付くと、田んぼに草が無くなっており、満足した気持ちで田んぼを見つめていました。

気分良く帰ろうと歩き始めた時、午前中に除草した辺りに草がちらほらと。生産者の菅原さんに「田んぼを見る目が肥えたから目に付くのですよ」と声をかけてもらいましたが、とても心残りでした。帰りの車窓から見える田んぼは、観点が変わっていました。

これからの稲の成長、そして豊作の便りが楽しみです。日々の仕事をしている時と違い、ゆったりとした時の流れを感じる、充実した一日でした。



広い田んぼの除草には
人手が必要です

理事会議事録抄

2022年6月7日(火)

▼6月以降の組合員活動における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について決定した▼第34回総代会の当日運営について確認した▼2022年度議案書のQ&Aについて確認した▼役員理事報酬について承認した▼ペーパーレス会議の方針を承認した▼LPAの会委員長について協議した▼2022年度Wa!わあ祭り開催方針と時期について確認した▼貧困問題学習会企画を承認した▼脱原発・再生可能エネルギー関連プログラム賛同について承認した▼鍋布団調理企画を承認した。

組織概要

(2022年5月分)

【組合員数】	15,242名
【供給高】	245,233千円
【一人実利用高】	5,488円/週
【出資金】	1,295,904千円



◎ 田んぼの中にあんなにたくさんの雑草「コナギ」が! 周りの農業使用の田んぼとは歴然の差で、農業の効果に驚きの広域で農業なしのお米を育てるのは難しいと納得でした。の(田んぼに行こう(大郷)参加者感想より)

組合員が丸森町の「ひっば電力」訪問



「ひっば復興発電所1号」
ひっば電力始まりの地に集合

丸森町筆甫地区は、宮城県の最南端にあり、あたたかい笑顔のひっば電力目黒社長、金上さんに案内頂きました。「復興発電所1号」の太陽光パネルは旧中学校の校庭に設置されています。そのパネルの前には、新たに小さなパネルが増設されており、お話を伺うと町より助成を受け「まちづくりセンター」の蓄電池とともに設置され、災害時に一役かっているとの事でした。



電力はすべて自給する
ひっば電力の社屋

地域に貢献し、地区の活性化を果たしている事を、新たなパネルを見ながら感じました。
そこから車で数分の所にひっば電力「平松発電所」がありました。ここは、太陽光パネルと原発電事故で発生した除染土の仮置場が道路を挟み向かい合わせに存在する場所でした。「汚染土」と「未来への思い」が込められた発電所、そして豊かな里山…対照的な2つの場所を両手に見ながら大切なのはどちらだろうか？と自分に問い、私は「脱原発」を未来へ送りたいと思いました。

脱原発エネルギーシフト委員会
萩原 晃世



私のオススメ商品



私のお勧め商品は、産直鶏ガラスープです。この商品で出汁をとり、イワシのつみれやアジのつみれなどを入れてネギを入れ、お好みで少し醤油などを加えてスープにするのが私のお気に入りです。

その他にも野菜炒めや炒飯などスープにする以外にも色々な料理のアレンジに使うことも出来ます。そして、顆粒になっているので、味の微調整もできるのでとても使いやすいです。詰替え用があるのも、とても便利で経済的にも嬉しい限り。我が家には欠かせない一品になっております。是非、皆様にもお試しいて頂きたい商品です。
供給課 鈴木 清介

編集後記

理事として7回目の総代会を終えました。久しぶりの対面での総代会は良い緊張感に包まれ、気持ちよく第30期理事会がスタート。今期も熱意をもってあいあいあいを編集して参ります。さらに今年はいよいよ会場開催復活を目指すWa！わあ祭りの実行委員長を仰せつかりました。さでどうしましょう。ピンチはチャンスって名言ですね。「転禍為福」。コロナ禍でなければ気付けなかった様なことを調味料にして、組合員みんなで美味しくいただけるお祭りを煮込んでいきたいと思えます。

広報担当理事 鈴木 真奈美

Present

アンケートプレゼント
機関紙あいあいあいに
ご意見感想をお寄せくだ
さい。抽選で3名の方に
あいシテル商品をプレ
ゼント！右のQRからどうぞ。



ジョイケア NEWS

ジョイケアシステムは、あいコープみやぎ独自の地域福祉政策で、組合員全員の拠出金(100円/月)によって成り立っている助け合いの仕組みです。社会福祉法人「みんなの輪」、NPO法人「お茶っこケア」、ビッグイシューへの支援など、地域福祉にも役立てられています。個人で利用できるサービス(ささえあい/たすけあい/集団託児/慶弔・出産/電話相談)もあり、組合員同士の助け合いやケアメイトによる集団託児なども多く利用されています。

ジョイケア利用状況 (2022年5月分)

ささえあい(保障)	3件	◆集団託児	利用延べ人数 0名
たすけあい(ケア)	15件	◆ケア時間	20時間
集団託児	0件		
慶弔・出産	11件		
電話相談窓口	6件		
計	35件		

*Covid-19の為、活動を制限しています。

組合員が利用できる電話相談

お申込み・お問合せは
ジョイケア事務局へ



0120-50-7277 平日 9:00~15:00

年金相談・・・8/9(火) 社会保険労務士 清野道子氏

13:30~15:30

法律相談・・・8/9(火)、8/24(水) 弁護士 倉林千枝子氏

13:30~15:30

傾聴・・・8/9(火) NPO法人仙台傾聴の会 森山英子氏

10:00~12:00

子ども相談・・・8/9(火) 宮城教育大学教授 菅井裕行氏

10:00~12:00

介護相談(ケアプランセンター山崎彰子氏)は相談希望日をうかがっています。

▼各相談窓口前週の日曜日までには予約して下さい。随時受け付け可能です。▼
▼予約して頂いた方には、相談日に相談員からお電話を差し上げます。



●子供のころから食べていたあいコープの商品について新たな発見があったり、美味しそうな食べ方を教えていただけたりしてとても勉強になりました。ありがとうございました。(青葉オンライン試食会参加者アンケートより)

「素材を活かす」ことで感謝を表現 食べる人と生産者を笑顔にするジェラート



名取市でお洒落なジェラテリアを運営する図南商事は、昭和42年創立のアイスクリーム問屋です。2011年の大震災で本社が被災。まさに混乱する震災当日に社長が見たのは、停電の中、とけてしまう前にと配られたアイスを食べそうに頬張る子供たちの笑顔。アイスは人を笑顔にするお菓子だと実感したそうです。

そして2015年、地元企業として地場の生産者に恩返しをしたい『恵みを感動に』をコンセプトに、地元の素材を美味しいジェラートにする「ナチュリノ」を設立しました。統括責任者の鈴木さん曰く「全員素人で、手探りでのオープンでした」とのこと。果物などを徹底的に潰して滑らかさを求めるイタリアンジェラートを手本にはしつつ、アイスとしての完成度より素材本来の良さを活かすことを優先しました。人工の香料を入れないので、果物や野菜の含有量が少なければ味が出ません。結果、こだわりの原料たっぷりの贅沢アイスになります。「原料の作り手である農家の方が『俺の作った果物(野菜)の味だ!』と納得してくれるアイスを作りたい」と鈴木さん。あいこーぷからの「パスちゃん牛乳でアイス」という依頼に、使い慣れた牛乳ではないというこ



マシンから出てくる
ふわふわのジェラート



取材した日は900個の
チョコ味を手詰め

とどこまで美味しくできるか不安があったそうですが、店頭で並ぶ商品の原料の生産者に感謝するように、あいこーぷの組合員が生産者に感謝する気持ちをそのまま表現すればいいんだ!と製造に取り掛かりました。あいこーぷはトレハロースという添加物不使用を要望。「アイス製造の常識にとらわれ、え〜?使わないでアイスが美味しくできるの?」と思っていましたが、やってみたらちゃんと美味しい!勉強になりました」と笑うのは製造チーフの大谷さんです。ミルクといちごの2種類でデビューしたジェラートですが、のちに試作を繰り返し、チョコと抹茶が完成しました。特に抹茶は「こんないい抹茶を使っている!」というような最高の抹茶だったと振り返ります。

自然の恵みと生産者への感謝をアイスに詰め込むナチュリノで、今日も製造される「パスちゃんジェラート」。材料の出どころまではっきりした、安全で美味しい夏のお菓子です。いつも冷凍庫にストックしておきたいですね。



図南商事株式会社 ジェラテリア『ナチュリノ』

統括責任者 鈴木 麻子さん(中央)
スタッフ 大谷 志穂さん(左) 室井 美織里さん(右)

私は三人の子供の母であり、育児が大変な時にあいこーぷに助けられた一人です。生産者の顔が見える安全安心な食材を扱っていることが魅力でした。そんなあいこーぷのカatalogに、まさか自分達が作ったアイスが載るなんて!と、感激とともに緊張が走りました。

ナチュリノ店頭で販売しているアイスには小松牧場(色麻町)の牛乳を使用しておりますが、今回初めて「パスちゃん牛乳」を使用することとなり、味わいや風味がどのようになるのか楽しみでもありました。パスちゃん牛乳はもちろん、「わ・は・わのいちごジャム」や有機緑茶など、素材が素晴らしいので、自ずとアイスもおいしくなりました。パスちゃん牛乳のさっぱりとした新鮮さをアイスで表現することが出来たので、組合員の皆様や、ながめやま牧場の方々にもご満足頂けたら幸いです。

今後、すべての生産者の方々へ感謝しつつ、新たなフレーバーにもチャレンジしていきたいです。

ナチュリノ 鈴木 麻子



現在は、ミルク・いちご・チョコ・抹茶の4味

Wa!わあ祭り2022

この秋、開催決定!!

2018年の開催を最後に、台風19号、新型コロナウイルスと、数々の原因で中止を余儀なくされてきたWa!わあ祭り。昨年はオンラインで大いに盛り上がりました。そろそろ対面で交流したいですね…。

今年はどんなお祭りになるか?乞うご期待!!



委員さん募集中!

あいこーぷの仲間と
食のこと
環境のこと
一緒に話しませんか?

お問い合わせ先
☎0120-255-044
Fax 0120-849-324
Email soshiki@mamma.coop
(担当:組織運営室長 豊嶋)



女川原発が止まってから

●4134● 日目

(2022年7月4日現在)

あいあいあい6月号に間違いがありました
大郷の田植えに参加し、4~5ページに感想を掲載させて頂いた組合員さん
「中野さん」は正しくは「仲野さん」でした。お詫びして訂正いたします。(編集部)